

『 裏磐梯の花～絶滅危惧種～ 』 モニタリング報告

【目的】

裏磐梯に草本 800 種、木本 500 種ある植物中、絶滅危惧の植物を調査する

【結果】

下記に示す調査対象種（地点）については、前年に較べて大きな変化はなかった

【考察】

当該地点は現在では特定の人だけが知るのみなため、極端な荒廃は見られないものとする
好事家に発見されれば、消失は時間の問題である
後述するような保護対策を積極的にすすめる必要がある

【対策】

自然ガイドなどを監視員に委嘱し、定期的または不定期に巡視させる
当該地点については特定の監視員等のみが把握し、一般への公表は控える
自然公園利用のルールの啓蒙活動に力を入れる

【概要】

（1）実施期日

平成 22 年 6 月 4 日
平成 22 年 6 月 15 日
平成 22 年 6 月 25 日
平成 22 年 7 月 10 日

（2）調査者

友坂 豊（裏磐梯エコガイドの会 事務局）

（3）調査項目および結果

p 2～3 に示す

【その他】

生育にマイナスの要因と思われるもの（人為的なもの）

- 1) 好事家による園芸の為の採取
- 2) 河川の改修（コンクリート化）、森林の伐採、湿原の開発など
- 3) 気候の変化（近年の異常気象など）

【 裏磐梯の花～絶滅危惧種～ 】

1 オサバグサ群生地

	日付		天候
	2010年 6月4日		晴れ
	調査場所	分類	
	築部山付近	福島県絶滅危惧Ⅱ類	
	考察		
<ul style="list-style-type: none"> ・30度強の北西の斜面の約100㎡の所に群生をしている ・登山道付近にもオサバグサが自生している 			

2 ツルキツネノボタンの群生地

	日付		天候
	2010年 6月15日		くもり
	調査場所	分類	
	ゴールドライン付近	福島県絶滅危惧Ⅱ類	
	考察		
<ul style="list-style-type: none"> ・水の流れに沿った湿地のエリアにかなりの株数が群生している 			

3 オキナグサの群生地

	日付		天候
	2010年 6月25日		晴れ
	調査場所	分類	
	磐梯山のガレ場	環境省：絶滅危惧Ⅱ類 福島県：準絶滅危惧	
考察			
<ul style="list-style-type: none"> ・20メートル四方に約100株程度、すでに種を飛ばした後と思われる形跡があった ・花を咲かせたのは4割程度。 ・他の株はまだ小さいもののたくさんあった 			
その他の花	<ul style="list-style-type: none"> ・コウリントンポポの小さい株 ・バンダイクワガタ ・シラタマノキ ・ハイマツ ・マルバシモツケ ・ススキ ・マルバキンレイカ ・キツネヤナギ ・イタドリ ・アズマギク ・ヤマブキショウマ ・ウスユキソウ <p>などの植物が自生していた</p>		

4 トキソウ 群生地

	日付		天候
	2010年 7月10日		晴れ
	調査場所	分類	
	五色沼付近	環境省：絶滅危惧Ⅱ類 福島県：準絶滅危惧	
考察			
<ul style="list-style-type: none"> ・裏磐梯のおよそ2000㎡の私有地の湿地に1000株以上ものトキソウが去年と同様に群生していた 			
その他の花	<ul style="list-style-type: none"> ・カキラン ・コオニユリ ・エゾミソハギ ・ウメバチソウ <p>など 湿原の植物がたくさん確認された。 ・湿地に生えるハンノキやシロヤナギは幼木のうちに切られるので日光がよく当たる</p>		